

平成23年度 地域の“まちづくりびと”養成講座
川る？変わる！まちに仕掛ける。～仲間づくりでまちづくり～

第1回 「なかまづくり」：コミュニケーション ～知り合いになる・夢を語る～

日時：平成23年8月27日（土）

場所：天白区役所3階 第3・第4会議室

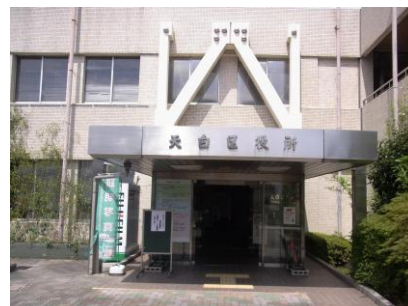
時間：13時00分～16時30分

残暑厳しい中、平成23年度地域の“まちづくりびと”養成講座が始まりました。今回は、天白区役所との共催で天白川を切り口として、参加者みんなで思っていることや感じていることを話し合ったり、実際にまちを歩いたりしながら、まちに仕掛けることを企画してみます。7回の講座のあいだには、合意形成やアイスブレイクの方法なども学びます。さらに、天白区の区民まつりにも参加することになりました。

今年の会場は、区役所、生涯学習センター、天白公園と全て天白区内となりました。

講座の企画・運営スタッフとして、名古屋都市センターと天白区役所職員の他に過去の名古屋都市センターの講座を修了した“まちづくりびと”、及び天白まちづくりサポータークラブのメンバーにも加わってもらいました。

また、講座全体の講師及びアドバイザーとして、中京大学現代社会学部講師でまち楽房（マチラボ）有限会社代表取締役 加藤武志さんをお願いしました。加藤さんも含めて16人で4月から実行委員会やまち歩きの下見などを行い、企画を練ってきました。このメンバーで分担しながら講座当日の運営も行っていきます。



平成23年度 地域の“まちづくりびと”養成講座	
第1回 「なかまづくり」コミュニケーション	
知り合いになる・夢を語る	
プログラム	
13:00	1. あいさつ 5分
13:05	2. 用途にあてオリエンテーション 15分
13:20	3. アイスブレイク&知り合いになろう 60分
14:20	4. みんなで川をちよい見♪ 30分
14:50	5. 休憩 10分
15:00	6. 夢語りバズトーク 60分
16:00	7. チェックイン! 希望の葉っぱ 20分
16:20	8. ふりかえり 5分
16:25	9. 次回案内&あいさつ 5分
16:30	

13:00～13:20 はじめに

最初の会場の配置は、受講生、スタッフも含め約50個のイスがぐるりと楕円形に並んでいるだけで座ってみると自分の前には何も遮るものはありません。集まり始めた受講生は、好きな場所に座っていきます。

初めに主催者を代表して、名古屋都市センター 安田まちづくり相談幹より挨拶がありました。



住みやすい快適なまちを作るためには、そこに住んでいる方が自らまちづくりを進めていくことが一番大事なことだと思います。その時に、自分の思いをみんなに伝えていく手法や沢山の人の意見を引き出す、意見をまとめていく、改善のためのプログラムを作って進めていくことが必要になりますが、ある程度の技術・手法が必要になってきます。そのあたりをこの講座で学んでいただけたらと思います。ステップアップ講座を開催するなど名古屋都市センターとしてもフォローアップしていきたいと考えています。



次に、講師並びにスタッフの紹介、受講にあたってのお願いや講座全体の予定、本日の流れの説明を名古屋都市センター職員が行いました。

受講生は35名で、地元天白区在住の方をはじめ様々な区や県外(市内在勤)からもまちづくりに興味のある方々が集まっています。まだ顔を合わせたばかりで、皆さん緊張した面持ちです。

そこで実行委員の河合さんが簡単なアイスブレイクを行いました。全員立ち上がって手を前にだします。合図にあわせてグーの状態から親指や小指を動かします。少し体を動かすだけで、みなさんの顔に笑顔が出てきました。



13:20~14:20 アイスブレイク&知り合いになろう!

ここからは、加藤武志さんに講座を進めてもらいます。講座の最初の緊張した雰囲気や和らげるため、更にアイスブレイクを行いました。

まずは、受講生だけではなくスタッフも加えて、イス取りゲームを行いました。条件に該当する人は席を変わなければならないというルールです。(フルーツバスケット)

最初は、知り合い同士で座っていることが多い場をシャッフルする方法を体験しました。

次に2人1組で向い合せになって座ります。そして右手は人差し指をたて、左手は軽く輪を作ります。お互いに相手の輪の中に自分の右手の人差し指を通します。加藤さんが、「キャッチ!」と言ったら、自分の人差し指は素早く逃げて、相手の人差し指をつかまえます。簡単なゲームですが、老若男女誰でも楽しめるアイスブレイクの方法とのことです。確かに参加者全員が一瞬で笑顔になっていました。



次に、講座7回を通して使う名札づくりを行いました。2人ペアで相手の似顔絵を書きます。悩みながらもみなさん筆を走らせています。そしてお互いに交換して見せ合い、様々な表情を浮かべていますが、さらに場が盛り上がりました。自分でニックネームと本名を書き入れて完成です。

これは、お互いに同じ目線・立場で同じ作業をしたから相手を受け入れやすくなり、協働の第1歩を感じてもらう意味もあります。

続いて、「8つの窓」というアクティビティを行いました。1枚の紙を折ってできた8つのスペースにそれぞれ次の質問の答えを記入していきます。

- ①本名
- ②呼ばれたい名前（ニックネーム）
- ③小さい頃、なりたかった職業
- ④最近うれしかったこと
- ⑤マイブーム
- ⑥好きな食べ物
- ⑦受講動機
- ⑧川にまつわるエピソード

そして、その内容をお互いに共有します。その手順は、まず、話し手は、書いたものを3分間で相手に伝えます。

8つの事項について、なぜ、それを書いたのか、意図や背景を含めて身振り手振りを交えて話をしています。聞き手は、メモを取らずにしっかり相手の目を見て聴きます。その後、「こういう話でしたよね」と1分間に要約して相手に戻します。次に攻守交替して同じことを行いました。

これは、話し方、聴き方のトレーニングで、主に「傾聴」ということを学びました。きくという字には、「聞く(hear)」と「聴く(listen)」があります。「聞く(hear)」は、音として聞こえてくる。一方、「聴く(listen)」は、注意深く中身を理解して聴くという意味が含まれている、とのことです。さらに「聴」という漢字には、耳だけでなく、心と横向きだけ目という字も含まれているので、傾聴というのは、目で見ても耳を傾け心に刻むということになります。

メモを取らず、相手の目を見てうなずきながら聴くことがコミュニケーションの第1歩で大事な概念だとのことです。

また、話し手のコツもあって、最初に結論(PPOINT)を言って、それから理由(REASON)を話すのがプレゼンテーションの基本で、これに例示(EXAMPLE)を加え、最後に結論を再度繰り返す(PPOINT)。こういったプレゼンの仕方をPREP法といい、面談や小論文でも必ず使える方法であると加藤さんからお話がありました。

最後に7分間で面識のない人と「8つの窓」について情報交換を行い、相手にサインをしてもらいました。中には、5人以上と情報交換した人もいました。



14:20~14:50 みんなで川をチョイ見♪

続いて、天白川を少し見てみようということで、実際に川に出てみました。天白区役所まちづくり推進室の阿部主査がナビゲーター役です。

残暑の中、区役所から堤防へ上がってみると、川の音と蝉の鳴き声が大きく聞こえ、目の前に天白護床工があります。馬蹄形で階段状という特異な形により見事に自然と調和をさせ、快いせせらぎの音を創出したところが高い評価を受け「名古屋市都市景観大賞」を受賞しています。

阿部主査の説明を受けつつ、天白川と植田川の合流点あたりまで歩いてみました。そこは、植田下水処理場なのですが、上部が全面覆われ、庭園、芝生広場やスポーツ施設になっています。

川で遊んでいる子供たちもいました。



15:00~15:40 夢語りバスターク

今度は、基本4人1組のグループを作ります。

まず、1人1人が川をチョイ見したことを思い出しながら、その時感じたこと、川への想い、これから7回の講座の中でこんなことをやれたらいいなあと思うこと、まちへの仕掛けのアイデア等々、絵でも字でも自由に「葉っぱカード」に7分間で表現してみました。

次に30分くらいで「葉っぱカード」の中身をグループで共有し、お互いの想いを話し合ってみました。(夢語り)

進行役1名、記録係1名を決め、グループごとににぎやかに話し合っています。



15:40~16:20 チェック・イン! 希望の葉っぱ

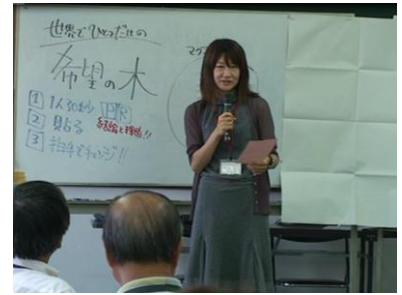
最後に1人1人が前に出て、一言ずつ発表して(チェック・イン)、「葉っぱカード」を前の模造紙に書いた木の周りに貼っていきます。全部貼り終わると世界で一つだけの講座の木が完成します。

講座の7回目に最初に自分が書いた希望の葉っぱはどうだったのか、それは実現できたのかを振り返る(チェック・アウト)ために行います。1人の持ち時間は30秒で、先ほど聴いたプレゼンの基本のP(結論)とR(理由)を使って発表をします。

順番は、発表した人が次の人にマイクを渡す権利があります。

講義の成果もあってか、みなさん時間内でスムーズに発表していききました。

全員が貼り終わってみると、色とりどりの葉っぱがついた木が出来上がりました。



16:20~16:30 ふりかえり&次回の案内

ここからは、河合さん(ここぞう)の司会で今日の振り返り、感想を聞いてみました。

最初にマイクを渡した人から順に4人の方がマイクを握りました。

最後に名古屋都市センター職員から次回の案内等を行い、第1回目の講座は終了しました。

暑い1日でしたが、とても楽しくあっという間に終わったように感じました。



* アンケートより、全体を通じたご意見・ご感想など **

- ・川をテーマとした事は大変良い事で多くの人達が（水）＝川との“つながり”を持っての方が良かったと思います。これからが「たのしみ」ですネ～
- ・3時間半あっという間にすごせました。多くの人と知り合いになれたと思います。これからもよろしく。
- ・少し緊張していましたが、とても楽しくまではいきませんでした。参加できて良かったと感じました。
- ・みなさん、やりたいことが明確な人が多くおどろき、かつ刺激になりました。
- ・いろいろな意見がきけるのが楽しいです。話すだけでなく、是非、実行に結びつけたいと思います。
- ・来年、昆虫教室を天白区で行う決意ができました。
- ・友達同士で参加している人は同じ人とかたまった話をするのはよくないと思う。
- ・④バズトークがちょっと長いかなと感じましたが、楽しくやれました。
- ・人と人が知り合うしかけが色々あって楽しかったです。天白川を中心に人が出会う場が作れて行けたらよいですね。
- ・初対面の方とこんなにもうちとけて話をしたことが今までありませんでした。最初は一言もしゃべれないのではと心配していましたが、講師の先生方の進行などすばらしく、つい素が出てしまったような気がします。ありがとうございました。
- ・実行委員会の努力に感謝。今後の講座が楽しみです。
- ・思いのほか、友達作りが簡単に出き不思議に思いました。次回楽しみにしています。
- ・川に関して考えるととても良い機会になりました。参加して良かったです。
- ・年代も多様で楽しかったです。人数も多く。
- ・まちをもっとよくしたいと強く思っている方々がこんなにいらっしゃるんだと大変嬉しく思いました。すごくパワフルで心強いなと思いました。
- ・初回からエンジン全開という感じでとても内容が濃いと感じました。川をチョイ見は説明がみんなには伝わってなかったのでは？
- ・今回、参加してよかったと思っています。これからが楽しみです。
- ・②言葉の裏まで表現していただいてビックリ。④参加者から昔の話をきけて参考になった。
- ・参加者の気持ちが達成したいですね！
- ・みなさん、活発な意見・発言をいきいきとされ少しあかりが見えてきた気がしました。
- ・流れがスムーズで時間が過ぎるのが早かった。もしかしたら早すぎた人もいたかも。やはり人の話を聞く話が全てに通じる。皆で話すのが楽しいです。
- ・天白川のこと、まだまだ知らないことが多いなと感じました。私は初めてこのような講座に参加したのですが、大変楽しかったです。
- ・楽しくコミュニケーションができるしくみに興味をもちました。景観が魅力的になれば人は自然と集まると思います。
- ・色々な考え方があって参考になった。
- ・第1回とても楽しかったです。この後も楽しくなりそう・・・。
- ・なごやかな雰囲気よかった。
- ・たくさんの人とたくさんのお話できたこと、これこそ仲間づくりの第一歩でつながりはじめた感じがしています。

- ・ いろいろな考え方があり生活の多様性、考え方の多様性を凄く感じ、とても刺激を受けました。
- ・ 思っていたよりグダグダにならずによかったです。考え方が広がると思う。
- ・ 次回を待遠しくなりました。協力したいとおもいます。

※当日の様子が「タウンニュースてんぱく」に掲載されました。

(3)

タウンニュース
てんぱく

2011年9月10日(土曜日) No.596 FREE



キャッチのゲームを楽しむ参加者ら

川る？変わる！まちに仕掛ける！ 受講者が“仲間づくり”学ぶ

天白区役所を名古屋都 武志さんを講師に迎え、市センターの共催講座 ①お題で動くフルーツパ 「川る？変わる？まちに スケット②キャッチの号 仕掛ける？仲間づくり 令で相手の指をばさむキ でまちづくり」 第1回 ヤッチ③名札作り④8つ が8月27日、区役所会議 の窓などのゲームを行い 室で開催され36人が熱心 ました。目と耳と心で聴 く傾聴についても、実際 に受講しました。

同講座は平成17年から 市内各地で実施されてい た。

今年度は「天白川と 終始笑顔で参加してい 地域のつながりをなま た藤坂幸夫さん(島田) と一緒に体験しよう」とは「きれいな天白区にし 天白区で開催 全7回で たいの思いで申し込み 地域住民がまちづくりの ました。知り合いのつく り方を教えてもらい、参 手法を学びます。

第1回のテーマは「な 加してよかったですと思いま かまづくり」。中京大学 す」と話していました。

現代社会学部講師の加藤